

Fureai

Fujita Related All Information

2021 1.1
Vol.
280

新しい時代へ—— 様々な変化に対応し 基盤を強化する。

【新年を迎えて】
社長より年頭の挨拶

【三条支店 各種設備を導入】
スリッターラインをオートメーション化

2021 年頭の挨拶

明けましておめでとうございます。
新年にあたりご挨拶を申し上げます。

明けましておめでとうございます。

昨年を振り返って

さて、昨年はまさに新型コロナウイルスに世界が翻弄された一年となりました。主要国がロックダウンに陥る中で、日本でも4月に緊急事態宣言が発令され、外出・出勤の抑制や飲食店の営業自粛によって生活が様変わりしました。緊急事態宣言が明けた5月下旬以降、新型コロナウイルスの向き合い方を模索しながら生活していくこととなりましたが、社員の皆さんが誰も罹患せず、今日を迎えられたことは不幸中の幸いでした。

医療従事者の方々の最前線での奮闘により、新型コロナウイルスに対して何が有効かが徐々に明確になってきていることが非常に大きな要因であり、且つ、皆さんがその知識を学習し意識して生活を送っているのが、この結果につながっていると思います。この場を借りて、医療従事者の方々と社員の皆さんへ感謝申し上げます。

ただし、最大限気を付けて生活していても、当然罹患してしまう場合も考えられます。社員に限らずですが、周りに罹患された方がいらつしやっても、決して差別や偏見の目で見ないでください。大丈夫かと思いますが、これが私からのお願いです。

現状を見直し、今後を考える

日本経済に関しては、米中貿易摩擦と2019年10月の消費増税により、ウイルス禍以前から停滞感が漂っており、新型コロナウイルスがそこに追い打ちを掛けた形になりました。緊急事態宣言解除後に、少しずつ景気は回復してきているものの、現在も回復状況は業種によって濃淡があります。

藤田金屬は複数の事業部を持ち、鉄は鉄でも幅広い業種のお客様とお取引をしています。それが功を奏し、上期には主力の薄板事業部が対面する製造業向けの売上が大きく落ち込んだものの、公共事業や建設案件などを中心に他事業部がカバーし、何とか上期を営業利益±0で折り返すことができました。

下期に入り薄板事業部も回復基調にあり、通期も黒字で終了できる見込みです。このウイルス禍においても、赤字に陥らないということは、藤田金屬の大きな強みの一つです。時勢により事業部毎の凹凸はありますが、皆さんがそれぞれの持ち場で常に頑張っているからこそこの結果です。基盤のしっかりした会社であることに自信を持って頂きたいと思えます。

ただし、収益力についてはまだ改善の余地があります。何が起るかわからない、予測の難しい時代に突入したか



代表取締役社長

今井 幹太

らこそ、この基盤をより強化していく必要があります。

新型コロナウイルスは、もつと先の課題と思われていたDX等を持ったなしに突き付けてきた、ある意味でカンフル剤のような側面もありました。テレビ会議等の環境整備、RPAやAIを活用した業務の効率化やシステム自体の変更などです。これらの活用は収益力の改善に非常に有効ですので、各人意識をして自分の仕事を見つめ直してみてください。宜しくお願ひします。

最後に

12月17日時点で今年度は5件の災

害が発生しています。昨年度も12月時点で5件でしたので、同じペースでの推移となっています。会社運営の根幹は安全に働ける職場であることです。まずは今年度末まで無災害で終えられよう、取り組んで頂きたいと思えます。

以上、年頭にあたり、挨拶を申し上げますが、引き続きウイルス禍が続きますが、安全、健康第一で過ごしてください。本年が皆さんとご家族にとって健康で幸せな一年となりますよう祈念し、新年の挨拶いたします。

2021年1月5日

有限会社ツチヤ製作所の パンフレットが完成しました

この度、ツチヤ製作所(藤田金属の子会社)は営業活動向けにパンフレットを制作しました。

ツチヤ製作所は、NC旋盤や、フライス盤、マシニングセンターなどの設備を保有し、様々な産業に向けた部品加工を行います。小ロットや、部品加工の修理にも対応するため、部品一つひとつに対しての丁寧さと、精度の高い加工が特徴です。

パンフレットではツチヤ製作所の「技術力」「対応力」「提案力」の3つの強みや、保有設備、加工品実例を紹介しています。特に、加工品実例は写真で視覚的に分かりやすく表現しています。

表紙は図面をモチーフとしたデザインに、ツチヤ製作所の新たなロゴタイプ「TSUCHIYA」を配置し、色は黒とオレンジでまとめました。ツチヤ製作所が「加工のプロフェッショナル」であることが伝えられるパンフレットとなっています。



▲ 表紙

巻三つ折り(6ページ構成)

中面▶

【会社案内：概要】

ツチヤ製作所の強み、主な加工素材、設備一覧、加工品実例、取扱品目



- 2 -

- 3 -

- 4 -

在庫のご用意がございますので、ご興味のある方は総務部までご連絡ください。

三条支店

導入の経緯

2020年9月末に、三条支店の中板スリッターラインに自動刃組装置・自動セパレーター・棟間台車を、S3スリッターラインに自動セパレーターを導入しました。約3億5千万円の大規模投資に踏み切った背景には、生産効率と安全性の向上、そして省人化という目的に加え、新潟スチール様からのスリット加工全量受託がありました。

従来、薄板加工業界内では過剰設備、過剰供給という慢性的問題があり、業界の適正利益が損なわれている危機感がありました。しかし、新潟スチール様との協業により、業界全体の最適な生産体制構築に寄与できるとともに、当社としても一定のスリット加工量を見込めることを踏まえて設備更新をすることができました。

スリッターラインに、自動刃組装置・自動セパレーター・棟間台車を導入しました。

自動刃組装置



加工指示書データを受け取り、自動刃組装置へ指示を出す機械



自動刃組装置

切断し終わった刃組を取り出して、新たな刃組をスリッターにセットする。



次の刃組をセットするために、機械を下げて高さを合わせる。



左が次の刃組で、右が加工の終わった刃組。



側面に置かれた棚から、指示通りのスリット刃を選択する。



セット完了!



加工が終わった刃組は、右から左へ取り出される。



アームで掴んだスリット刃を、指定幅まで差し込む。

スリット加工とは？

コイルを一定の幅に連続して切断する加工方法です。

指定の幅に合わせてスリッター（切断部）に上下2枚のスリット刃を設置し、コイルはこの二枚刃の組み合わせによって切断されます。切断されたコイルはセパレーターで整えられ、再度フープ状に巻き取られます。

セパレーターはスリット刃の後部およびリコイラー部分に設置され、切断されたコイルをきちんとフープにするための支援部分として不可欠な装置であり、スリット刃と同じように指定幅に調整する必要があります。

従来、この刃組とセパレーターの設置・調整を手作業で行っていましたが、安全性の向上および作業者の負担軽減を図るとともに、生産性向上による残業削減につなげるため、今回両作業を自動化しました。



自動セパレーター

刃組に合わせてセパレーターも自動で指定幅に調整される。



セパレーターの調整はフィンガー（U字型の機械）で行われる。



フィンガーが、右から左へ調整。



幅の小さい調整も可能。

棟間台車

切断加工されたコイルは、棟間台車に載って出荷口近くまで運ばれる。コイルの荷下ろしが完了したら、台車は自動的に戻ってくる。



加工後のコイルは、自動で棟間台車へ載せられる。



荷下ろししやすいように90度回転。



出荷口近くまで移動。



クレーンで荷下ろし。

導入後

加工指示書のデータが自動的に刃組装置へ転送され、そのデータに基づいて2本のアームが棚に設置されたスリット刃の中から適切なサイズを瞬時に選び、スリッターへ指定の幅に差し込んでいきます。

スリッターは2組あるため、1組目が稼働している間に2組目の刃組は完了します。そして、刃組と連動してセパレーターも自動的に指定幅に調整されます。

また、棟間台車も新たに導入することで、切断加工したコイルを自動的に出荷口近くまで運べるようになり、出荷にかかる負担も軽減されました。

関係社員の声

導入にあたり、作業担当者は全員2〜3日ほど泊まり込みで講習を受け操作の習得に励みましたが、自動刃組装置はレーザーセンサーで認知して動く繊細な機械のため、当初はエラーばかりで、なかなか作業が進まなかったそうです。しかし、一つひとつエラーを解決していくことで、2カ月経つ頃には順調に稼働するようになりました。

近年は小ロットの注文が増えたことから、より刃組作業の頻度も増していました。その作業が全自動化されたことにより体力面でも楽になったそうです。今後は月間加工量3700トンを目指し、さらなる技術習得と作業効率化に取り組んでいくとのことでした。



健康優良企業 として認定されました

健康保険組合連合会と健康保険組合が共同で行う「健康企業宣言」に参加し、積極的に健康づくりに取り組んだ結果、この度、「健康優良企業」として認定されました。評価項目としては、健診結果の活用や健康づくり環境の整備、禁煙に関する取り組みなど6項目あります。申請書類の用意にあたり、ご協力いただいた各営業店の皆様には、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。今後も、健康経営と社員の健康づくりへの取り組みを進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

